

磯子区地域振興課ではさまざまな支援を行っています



磯子区マスコットキャラクター
「いそっぴ」

ICT導入
自治会町内会の

声

磯子区

あたらしい地域活動のスタイル

自治会町内会活動での ICT活用事例

地域活動において、磯子区内ではICTの活用を積極的に進めている自治会町内会があります。実際、どんなことに活用しているのでしょうか。実際に取り組んでいる自治会町内会の方々の声を聞いてみました。みなさんの地域活動へ生かせるアイデアを探してみませんか。

自治会町内会へのICT導入って、難しくありませんか？

磯子区では、ICT導入に向けた相談会や出張講座、デジタル化アドバイザーの派遣を実施しています。お困りごとの解決にぜひご活用ください。自治会役員同士だけではなく、役員と一般会員の方々の活用もご検討ください。お問い合わせは、地域振興課まで。
詳しい情報や開催の様子は
右記QRコードからご覧ください。
(※令和5年度の実施は予算の議決を条件とします)



磯子 デジタル化支援 🔍 検索

パソコン、スマートフォン、インターネットは苦手で…

いそご区民活動支援センターでは、ボランティアによるパソコンやスマートフォンの講座も開催されています。ぜひ情報を確認してみてください。



いそご区民活動支援センターで開催されているパソコンやスマートフォンの相談ができる講座

いそご区民活動支援センター 🔍 検索

場 所：磯子区役所7階
開館時間：午前10時～午後5時
休 館 日：祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

土日も開館しています

スマートフォンで暮らしを快適に!

「スマートフォンは、使い方がわからない!」と苦手意識を持っていませんか?慣れてしまえば、簡単な操作で日々の暮らしを便利にサポートしてくれる頼もしい味方、それがスマートフォンです。様々な便利機能を是非使ってみてください!

音声入力

指での操作の代わりに声で入力できます



SNS

会員同士で気軽に交流できるインターネットサービスです



地図アプリ

目的地への行き方も案内してくれます



電話以外にもたくさんの機能があります

- ・カメラ
- ・防災アプリ
- ・健康管理アプリ 等



発行：磯子区地域振興課

TEL.045-750-2391 〒235-0016 横浜市磯子区磯子三丁目5番1号 Eメール：is-chishin@city.yokohama.jp
開庁時間：月～金 8：45～17：00（祝日・休日・12/29～1/3を除く）

令和5年1月発行



【ICT】とは、情報通信技術そのもの、またはその技術を使ったコミュニケーションのことを指します。スマートフォン（スマホ）やパソコンなどのICT端末を利用した「つながるまちづくり」で、見守り、助け合い、安全・安心など、地域力の向上を図ります。

磯子区地域振興課

ICTを自治会町内会活動に役立てている方々に、

生の声を聞いてみました！



皆さんどんなふうにICTを活用しているのかな

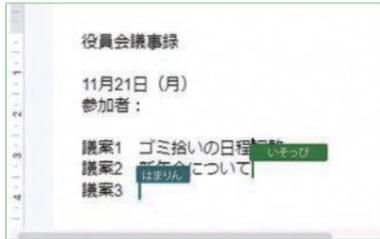
泉谷自治会

地区 磯子区岡村
導入時期 令和2年12月～

対面での参加が
できない時の
便利なツールです



泉谷自治会会長 伊東 之也さん
オンライン会議を導入する際、不慣れな人には、スマホから参加する方法と一緒に勉強しました。試行錯誤を繰り返し、今では高齢の方も継続してオンライン会議に参加しています。まずは体験して慣れることが重要だと思います。コロナ禍、介護などさまざまな事情で対面の会議に参加できない役員も自宅から参加できるようになりました。



リアルタイムの共同編集画面には編集している人の名前が表示されます。編集履歴も確認できるので、誤って編集した場合でも、元の版を再現できるので安心です。

オンライン会議(Google meetの導入)

理事、評議員(班長)、関係団体(シニア会、子ども会など)で、オンライン会議環境を整備しています。

クラウド上で情報管理(スプレッドシート/ドキュメント)

役員会の資料は、写真や動画も保存できるインターネット上のクラウドサービスで共有・管理しており、資料をパソコンやメディアで持ち歩く必要がなくなりました。常に最新の資料を役員間で共有できます。会議のときには、リアルタイムに資料を共同編集しながら決まったことを書き入れていくので、議事録などの資料作成を短縮できるようになりました。

滝頭地区連合町内会・滝頭岩瀬自治会

地区 磯子区滝頭
導入時期 令和3年12月～

ホームページで
自治会情報を
発信しています



滝頭地区連合町内会兼
滝頭岩瀬自治会会長
柏木 達義さん

ホームページは、2台のパソコンを用意し1台で動画をみながら、もう1台で作成していききました。会議や研修会、青色パトロールのスケジュールを掲載したところ、電話の問合せが以前より少なくなったので、地域のみなさんにも見ていただけていると感じています。ICTは地域活動でも使えるツールだと思います。



滝頭地区連合町内会のホームページには、イベント情報や新型コロナウイルス感染症関連情報などが掲載されています

ホームページの開設(Google サイト)

コロナ禍でもスムーズに情報伝達できる方法はないかと考えていたときに、区のICT相談会に参加し、そこで紹介された事例を参考に、連合町内会と自治会のホームページを開設しました。



滝頭地区連合町内会
<https://sites.google.com/view/takiren>



滝頭岩瀬自治会
<https://sites.google.com/view/takiwase>

会議へのプロジェクターの導入

プロジェクターやポケットWi-Fiを購入し、連合町内会の定例会で使用しています。区連合町内会会長(区連会)の報告や説明に使用していますが、参加者の理解が深まり、議論も活発になりました。

岡村中部自治会

地区 磯子区岡村
導入時期 令和3年9月～

ICT利用で
情報共有が
もっと身近に！



岡村中部自治会副会長
芦澤 謙司さん

自治会の高齢化もありICTに慣れない部分もありますが、役員同士で教え合うことで、スマートフォンも円滑に活用できるようになりました。オンライン講座の開催や、役員、会員同士の情報共有の可能性が広がるので、ICT化のメリットは大きいと思っています。



ウェブカメラで会議の様子を映したり、モニターで資料の共有ができます

自治会館に無料Wi-Fi環境を整備し 情報収集・講座や研修へ活用

区のICT補助金の活用をきっかけに、情報交換の活性化のためにICT化に取り組み始めました。自治会館のICT機器が揃ったので、今後は役員会などでオンライン会議も試行して行く予定です。役員はLINEグループによる情報共有や連絡も行っています。

広報紙「岡村中部NEWS」のインターネット公開

磯子区連合町内会会長(区連会)のホームページに広報誌を掲載し、インターネット上でも情報発信しています。

下町自治会

地区 磯子区下町
導入時期 令和3年9月～

役員同士の
コミュニケーションに
SNSを
利用しています



下町自治会副会長
小林 正己さん

紙媒体と人手に頼る情報伝達がコロナの影響で難しくなったことにより、自治会のICT化を進めています。SNS活用をはじめた結果、短時間でより多くの人に情報伝達が可能となり、コミュニケーションの質も量も向上しました。会員によってICT活用状況が異なるので、会の中で丁寧に何度も教え合っていくことが重要です。

LINEの活用

区のICT相談会や出張講座を受講するなかで、役員のLINEグループを作成しました。このグループでは、夜回りや会議の出欠確認と実施アナウンスにLINEの「イベント機能」を使っていて、参加確認の事務作業が簡便化されました。

モニターを使ったオンライン会議の実施

大型モニターを使用し、Zoomでのweb会議の実現に向けて試行錯誤しています。



役員会の日程調整や参加者確認はLINEグループのイベント機能を活用しています

磯子丸山台ハイツ自治会

地区 磯子区丸山
導入時期 令和4年4月～

将来に向けて
今始められる
ことから



磯子丸山台ハイツ自治会副会長
釜崎 秀敏さん

通信環境整備や防災防災活動支援など、継続する問題に対応していきたいと思っています。高齢化が進む中、ICT化対応への苦慮は容易に想像できません。しかし、「高齢者はデジタル対応ができない」ではなく、少しでも知識やスキルがある者が周りを巻き込み、将来への橋渡しをするための基盤づくりをしていくことが大事だと思います。

資料を会議前にメール送信、意見を事前に集約し効率化

役員会などの会議資料を事前にメール送信し、目を通してもらい意見があったら、会議前に返信してもらうことで、2時間を超えることもあった会議時間が1時間ほどで終わるようになりました。

1年交替の役員会とは別に ICTに特化した「ネットワーク委員会」を組織

団地の管理組合と自治会の横断組織で、継続的にICT化に取り組んでいます。現在は、区の相談会や出張講座を活用しながら、Googleサイト等を活用した自治会ホームページの新規作成の準備や資料のデジタル化(自治会と管理組合を横断する委員会の資料をデジタル化することで整理する)等に取り組んでいます。



ネットワーク委員会は団地の管理組合と自治会との横断組織となっています

レインボー自治会

地区 磯子区磯子
導入時期 令和3年9月～

会員同士の
コミュニケーションを
ICTで広げたい



レインボー自治会会長
鈴木 利昭さん

コロナ禍で対面での活動が難しくなりICTの活用を始めました。会議の効率化や、グループごとのコミュニケーションの多様化に役立っています。「今は高齢者が多いから使うのは無理」とよく聞きますが、高齢者を支えるためにもICTが必要です。また、スマートフォンはどこでも使えるので高齢者にこそ便利なツールだと思います。

会議にインターネットとモニターを活用

定例理事会で、パソコン、モニター、Wi-Fiを活用しています。大画面に資料を映すことで、紙の節減はもちろん、討議の視点が明確になりました。また、横浜市や磯子区のウェブサイトをもっと確認することができるようになり、進行がスムーズになりました。

LINEグループの活用

LINEグループを活動内容ごとに開設したことで、連絡やコミュニケーションが簡潔にとれるようになりました。今後も継続していきたいと思っています。

ホームページ活用

自治会ホームページには、活動内容やイベントの開催案内だけでなく、各種申請書類なども掲載していて、自分のパソコンに保存できるようにしてあります。



自治会ホームページには、防災拠点やハザードマップ、子育て支援マップなど役立つ地域情報へのリンクがあります



レインボー自治会
<https://rainbow.jww-cad.com/>